



樹木の安全点検

倒木や落枝の危険を発見しよう！

その5 キノコ



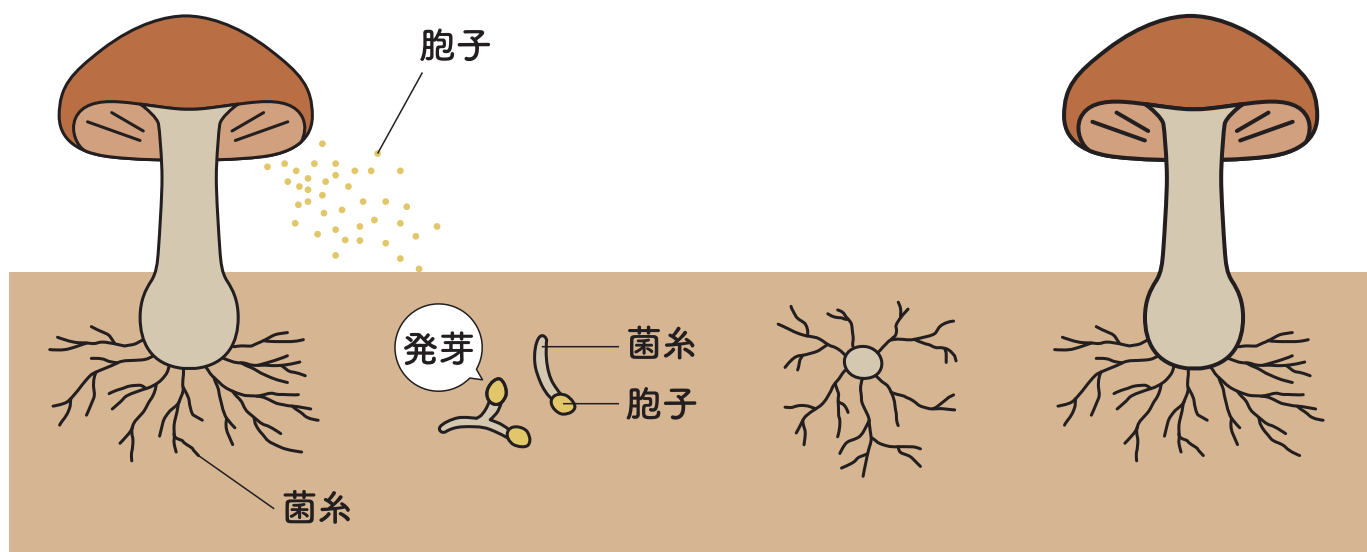
葉が生い茂っていて元気にみえる樹木でもキノコによって幹や枝の内部が腐り、倒れたり枝が折れたりすることがあります。そのため、キノコは倒木や落枝のリスクを見つけるための重要な点検ポイントになります。そこで今回はキノコとはそもそもどんな生き物か、また、危険なキノコの種類について紹介します。

1

キノコって何だろう？

キノコはいわゆる“カビ”の仲間で菌類に分類されます。キノコ自体は胞子をつくる器官で、樹木でいうところの果物のようなもので胞子は種に相当します。キノコから散布された胞子は発芽して菌糸を伸ばして成長し、成熟するとキノコを形成します。

キノコのライフサイクル



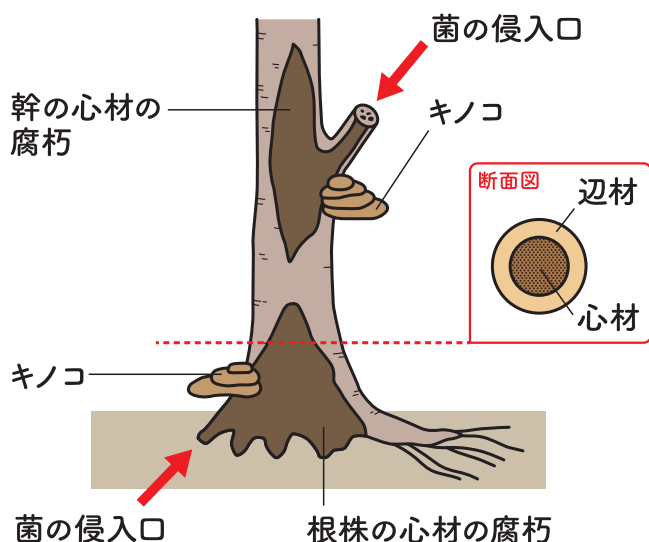
胞子の散布 → 胞子の発芽 → 菌糸の集合 → キノコの形成

2

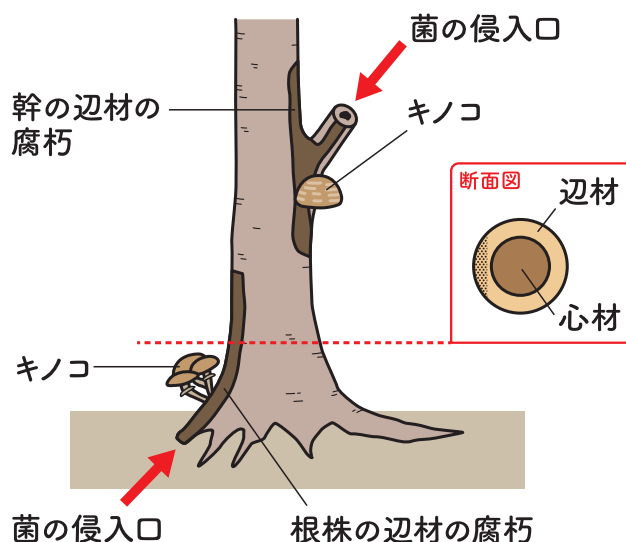
キノコの種類

キノコの中でも木材を分解して栄養源にしているものを“木材腐朽菌”といいます。キノコの種類によって腐朽させる樹木の部位が異なり、下図の通り大きく根株と幹(枝)、心材と辺材に分けられます。特に倒木や幹折れの原因になる腐朽力が強いキノコとしては、根株心材腐朽菌のベッコウタケやナラタケ、ナラタケモドキ、幹心材腐朽菌のコフキタケなどがあげられます。

心材腐朽模式図



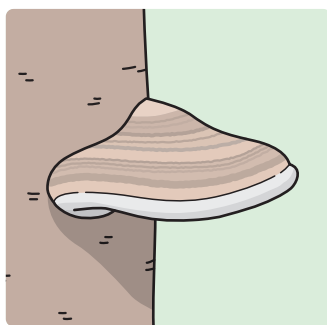
辺材腐朽模式図



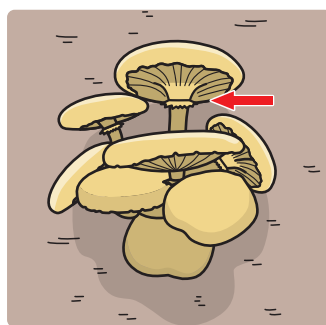
特に注意が必要なキノコ



ベッコウタケ
(根株心材腐朽)

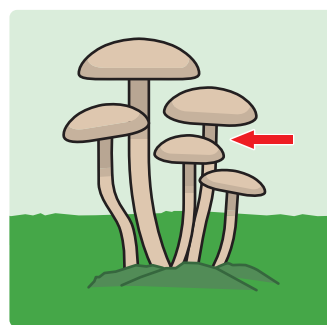


コフキタケ
(幹心材腐朽)



ナラタケ
(根株心材腐朽)

柄にツバがある



ナラタケモドキ
(根株心材腐朽)

柄にツバがない

キノコを見つけたら

菌糸によって木材が分解されるため、キノコを取り除いても樹木の腐朽が止まるわけではありません。幹や根元にキノコがあった場合は、キノコの種類を確認し、樹木の腐朽程度などから処置を検討する必要があります。キノコは取り除かずそのままにして樹木医などの専門家に相談しましょう。

公園・緑地の植栽点検・講習のご依頼は株式会社エコルまで！

